

リハビリテーション科 (先進総合機能回復センターを含む)

著 書

- 1 浅見豊子：(07) 予防教育の実践のモデル事例 ⑪佐賀県神埼市の事例. 理学療法士のための学校における運動器疾患・障害の予防教育マニュアルー認定スクールトレーナーの活動の手引き 194-196, 2024, 7, 15, (株)南江堂, 東京.
- 2 浅見豊子：第4章 脳・神経疾患における杖の選択と使い方. 1. 脳卒中後遺症, 転倒予防のプロが教える正しい杖の使い方ー変形性膝関節症, リウマチ, パーキンソン病, 脳卒中, フレイルなどー 100-102, 2024, 9, 20, (株)新興医学出版社, 東京
- 3 浅見豊子：第4章 脳・神経疾患における杖の選択と使い方. 3. 運動失調, 転倒予防のプロが教える正しい杖の使い方ー変形性膝関節症, リウマチ, パーキンソン病, 脳卒中, フレイルなどー 108-110, 2024, 9, 20, (株)新興医学出版社, 東京.
- 4 浅見豊子：第4章 脳・神経疾患における杖の選択と使い方. 6. 頭部外傷, 転倒予防のプロが教える正しい杖の使い方ー変形性膝関節症, リウマチ, パーキンソン病, 脳卒中, フレイルなどー 118-120, 2024, 9, 20, (株)新興医学出版社, 東京.

原著論文

- 1 浅見豊子：知っていてほしい義肢装具とその実際 4. 下肢装具（治療用装具）. Journal of Clinical Rehabilitation, 33(2) : 163-167, 2024, 2, 15.
- 2 浅見豊子：かかりつけ医とリハビリテーション医療 特集／外来におけるリハビリテーション指導のポイント. 臨牀と研究, 101(4) : 13-16, 2024, 4.
- 3 浅見豊子：ニーズを捉えた福祉機器の開発と評価～開発者と障害者に求められること～. 令和5年度ニーズ・シーズマッチング強化事業 事業報告書, 82-102, 2024, 4.
- 4 浅見豊子：脳卒中疾患に伴う装具の歴史的変遷ー短下肢装具に着目してー. 日本義肢装具学会誌 特集 40巻記念企画 疾患に対する装具の歴史的変遷, Vol. 40 No. 4, 245-248, 2024, 1.
- 5 浅見豊子：日本義肢装具学会における学術大会の役割と課題～教育について～. 日本義肢装具学会誌 40周年記念講演者紹介, Vol. 40 No. 4, 274, 2024, 10, 1.
- 6 *秀島圭和, 浅見豊子, 市場正良, 松尾清美, 村田知之：重症心身障害児に対する電動移動機の操作トレーニングの効果に関する研究. Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science, 15, 8-16, 2024.
- 7 *Yoshikazu Hideshima, Toyoko Asami, Masayoshi Ichiba, Kiyomi Matsuo, Tomoyuki Murata: A Study on the Effectiveness of Training in the Operation of an Electric Mobility Aid in Severely Mentally and Physically Handicapped Children. Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science, 15, 8-16, 2024.

総 説

- 1 浅見豊子：ご挨拶. 佐賀県高次脳機能障害支援拠点機関情報誌「きおくのいずみ」, 9, p. 1, 2024, 3, 31.
- 2 浅見豊子：志波直人先生との思い出. 志波直人主任教授 退職記念誌, 28-29, 2024, 9, 30.
- 3 浅見豊子：リハビリテーション科. 令和6年度診療科紹介, p. 11, 2024, 9.

- 4 浅見豊子：佐賀リハビリテーション研究会および佐賀県リハビリテーション科医会、佐賀県臨床整形外科医会会報, p.21-22, 2024, 12.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Toyoko Asami: Balancing detail-oriented (tactical) viewpoints with the big picture (strategic) viewpoints. ISPRM 2024 Medical Leadership: Finding Course in a Sea of Change, 2024, 6, 1-6, Sydney, Australia.
- 2 Toyoko Asami: Best practices in Board Certification in Japan. ISPRM 2024 Best Practices in PRM Board Certification: USA and Asia, 2024, 6, 1-6, Sydney, Australia.
- 3 Toyoko Asami: Rehabilitation Therapy for Upper Limb Prosthesis Considering Children's Activity Support. 2024 Yangtze River Rehabilitation Medicine Forum, 2024, 10, 11-12, China.
- 4 Kazuki Murata, Yuki Sato, Toyoko Asami: Usage of Incobotulinumtoxin A in our hospital. The 4th Japan-Taiwan-Korea Neurorehabilitation Conference (4th JTK Conference), 2024, 3, 2, Saga, Japan.
- 5 Akira Tanaka, Toyoko Asami, Taketo Sato, Kazuki Murata, Yuki Sato: A case of amyotrophic lateral sclerosis that HAL rehabilitation and AFO use helped prevent falls. The 4th Japan-Taiwan-Korea Neurorehabilitation Conference (4th JTK Conference), 2024, 3, 2, Saga, Japan.
- 6 Yuki Satoh, Toyoko Asami, Kazuki Murata, Akira Tanaka, Taketo Sato: Effectiveness of VR rehabilitation for patients with cerebral palsy. The 4th Japan-Taiwan-Korea Neurorehabilitation Conference (4th JTK Conference), 2024, 3, 2, Saga, Japan.

国内全国規模の学会

- 1 浅見豊子：ダイバーシティにおける繋がりが築くもの。第15回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会 会長講演, 2024, 3, 2-3, 佐賀.
- 2 浅見豊子：義肢装具領域の進歩と未来。回復期リハビリテーション病棟協会 第43回研究大会 in 熊本 特別講演, 2024, 3, 8, 熊本.
- 3 浅見豊子：HALを用いた外来リハビリテーション治療戦略。痙縮治療 Specialty Meeting in Okinawa -2nd- Invited lecture, 2024, 3, 15, Web 配信.
- 4 浅見豊子：誰ひとり取り残さない教育の実現に向けた支援を目指してーリハビリテーション医学・医療の立場からー。第4回小児リハビリテーション医学会学術集会 シンポジウム インクルーシブ教育・保育, 2024, 9, 6-7, 東京.
- 5 浅見豊子：切断のリハビリテーション医学・医療：歴史と展望。第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 教育講演, 2024, 11, 1-3, 岡山.
- 6 浅見豊子：脳卒中疾患に伴う装具の歴史的変遷～短下肢装具に着目して～。第40回日本義肢装具学会学術大会 教育講演, 2024, 11, 9-10, 福岡.
- 7 浅見豊子：家庭でも職場でも社会でも転ばない in SAGA ～私の場合～。日本転倒予防学会 第11回学術集会 会長講演, 2024, 11, 23-24, 佐賀.
- 8 浅見豊子：歩行リハビリテーションにおけるリハビリテーションロボットの活用。日本転倒予防学会 第11回学術集会 スイーツセミナー1, 2024, 11, 23-24, 佐賀.
- 9 *平尾 文, 平岩和美, 浅見豊子：不整地マット使用による足底表面積の変化について～5歳児を対

象に～. 第15回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会, 2024, 3, 2-3, 佐賀.

- 10 *平尾 文, 平岩和美, 浅見豊子: 不整地マット使用による足底表面積の変化について～5歳児を対象に～. 日本転倒予防学会 第11回学術集会, 2024, 11, 23-24, 佐賀.
- 11 *木村 孝, 浅見豊子: 急性期からの退院後住宅における脳卒中後うつ状態関連因子の1年後の構造変化. 第15回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会, 2024, 3, 2-3, 佐賀.
- 12 溝田理恵, 山口奈津美, 浅見豊子, 村田和樹, 佐藤佑紀: 脳出血による高次脳機能障害例の復職支援の経験. 第15回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会, 2024, 3, 2-3, 佐賀.
- 13 溝田理恵, 浅見豊子, 村田和樹, 佐藤佑紀: 高次脳機能障害に対する日本語版 STRATIFY の活用検討について. 日本転倒予防学会 第11回学術集会, 2024, 11, 23-24, 佐賀.
- 14 *中原誉彬, 有蘭洋一, 坂田亮二, 浅見豊子: 先天性前腕欠損児に用いた義手の工夫. 第40回日本義肢装具学会学術大会, 2024, 11, 9-10, 福岡.
- 15 村田和樹, 浅見豊子, 佐藤健仁: リハビリテーションロボットを通じた地域高齢者の活動向上に向けた取り組み. 第15回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会 JSNRNR シンポジウム 1 活動におけるダイバーシティとニューロリハビリテーション, 2024, 3, 2-3, 佐賀.
- 16 村田和樹: 痙縮におけるボツリヌス治療のトータルマネジメントを考える～次世代に向けて～. 痙縮治療 Web Seminar, 2024, 3, 29.
- 17 村田和樹, 佐藤佑紀, 浅見豊子: 当院におけるリハビリテーション治療実施中の転倒・転落についての検討. 日本転倒予防学会 第11回学術集会, 2024, 11, 23-24, 佐賀.
- 18 佐藤健仁, 浅見豊子, 村田和樹, 佐藤佑紀, 田中 玲: ロボットを活用した介護予防における地域高齢者の心身状態の変化. 第15回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会, 2024, 3, 2-3, 佐賀.
- 19 佐藤健仁, 浅見豊子, 村田和樹, 佐藤佑紀, 田中 玲: mediVR カグラを使用した転倒予防につながる介護予防の取り組み. 日本転倒予防学会 第11回学術集会, 2024, 11, 23-24, 佐賀.
- 20 佐藤佑紀, 佐藤健仁, 村田和樹, 浅見豊子: 歩行アシストを使用した転倒につなげる介護予防活動の経験. 日本転倒予防学会 第11回学術集会, 2024, 11, 23-24, 佐賀.
- 21 田中 玲, 浅見豊子, 佐藤健仁, 村田和樹, 佐藤佑紀: HAL リハビリテーションと AFO 使用が転倒予防に繋がった筋萎縮性側索硬化症の1例. 日本転倒予防学会 第11回学術集会, 2024, 11, 23-24, 佐賀.
- 22 矢原有紗, 浅見豊子, 村田和樹, 佐藤佑紀: 転倒予防の観点での短下肢装具の種類選択について. 日本転倒予防学会 第11回学術集会, 2024, 11, 23-24, 佐賀.
- 23 山口奈津美, 溝田理恵, 浅見豊子, 村田和樹, 佐藤佑紀: 高次脳機能障害支援拠点機関における活動, 参加改善への取り組み. 第15回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会, 2024, 3, 2-3, 佐賀.
- 24 *山崎拓也, 田中康博, 秋山菜奈絵, 浅見豊子: 高齢者におけるトレッドミル環境に対する適応訓練の試み. 第15回日本ニューロリハビリテーション学会学術集会, 2024, 3, 2-3, 佐賀.
- 25 矢山柚衣, 浅見紗衣, 浅見豊子, 村田和樹, 佐藤佑紀, 高野友美: 特別養護老人ホームにおける転倒・転落についての検討. 日本転倒予防学会 第11回学術集会, 2024, 11, 23-24, 佐賀.

地方規模の学会

- 1 浅見豊子: 腎臓リハビリテーションへのロボットリハビリテーションの活用. 腎性貧血・腎臓リハ

ビリテーションを考える会 in Hiroshima 特別講演, 2024, 7, 2, 広島.

2 浅見豊子：関節リウマチのリハビリテーション医療. 第36回佐賀リウマチ研究会, 2024, 7, 19, 佐賀.

3 村田和樹, 佐藤佑紀, 浅見豊子：佐賀大学医学部附属病院でのインコボツリヌストキシンAの使用状況. 第55回日本リハビリテーション医学会九州地方会, 2024, 2, 18, 鹿児島.

研究助成等

職 名	氏 名	補助金(研究助成)等の名称	種 目	1：代表 2：分担 該当番号を記入	研 究 課 題 等	交付金額 (千円)
准教授 (診療教授)	浅見 豊子	厚生労働行政推進調査事業費	障害者施策総合研究事業	1	技術革新を視野に入れた補装具費支給制度のあり方のための研究	7,150
准教授 (診療教授)	浅見 豊子	メビックス株式会社	臨床研究支援	1	上下肢痙縮患者における高用量A型ボツリヌス毒素製剤(ボトックス)の安全性及び有効性：日本における観察研究	440
准教授 (診療教授)	浅見 豊子	佐賀県健康福祉部	支援事業	1	令和6年度佐賀県高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業	8,910
准教授 (診療教授)	浅見 豊子	佐賀県健康福祉部	支援事業	1	令和6年度佐賀県健康長寿運動プログラム事業	10,648

学術（学会）賞

職 名	氏 名	学術（学会）賞名	受 賞 課 題
准教授 (診療教授)	浅見 豊子	藍綬褒章	女性活躍推進功績